

| 議 長 | 副議長 | 局 長 | 次 長 | 係 長 | 係 | 合 議 |
|-----|-----|-----|-----|-----|---|-----|
| | | | | | | |

このとおり作成しましたので報告します。

産 業 建 設 委 員 会

開 催 日：平成26年6月19日(木)

開催時間：9時55分～12時23分

開催場所：第3委員会室

【委 員】 布施委員長、牛尾昭副委員長
 串崎委員、飛野委員、笹田委員、西田委員、牛尾博美委員

【委員外】

【議 長】

【執行部】

(産業経済部) 中村産業経済部長、田村産業経済部次長(兼産業政策課長)、竹中産業振興課長、
 佐々本広島市場開拓室長、川神農林振興課長(併農委事務局長)、吉田水産振興
 課長、

石田漁港活性化室長、栗栖観光交流課長、倉井産業企画係長

(都市建設部) 下垣都市建設部長、河野都市建設部次長(兼建設企画課長)、吉田建設整備課長、
 宮下地籍調査室長、岡本維持管理課長、佐々木建築住宅課長、吉川災害復興室
 長、藤井庶務係長

(金城支所) 吉永金城支所長(兼金城支所建設課長)、芹原金城支所産業課長

(旭支所) 岩谷旭支所長、田村旭支所産業課長、塚田旭支所建設課長

(弥栄支所) 田中弥栄支所長、岡本弥栄支所産業課長(兼弥栄支所建設課長)

(三隅支所) 横田三隅支所長、岡田三隅支所産業課長(兼三隅支所建設課長)

【事務局】 小川書記

議 題

- 1 議案第53号 市道路線の廃止(木戸山賀線外)について
- 2 議案第54号 市道路線の認定(木戸山賀線外)について
- 3 議案第55号 土地改良事業計画について(団体営農業基盤整備促進事業(浜田第二期工区))
- 4 執行部報告事項
 - (1) 第1回瀬戸ヶ島埋立地活用研究会の開催結果について
 - (2) 女性向け起業セミナーについて
 - (3) 株山陰合同銀行との企業誘致に関する成功報酬の協定締結について

- (4) 浜田市商品開発アドバイザーの委嘱について
- (5) 漁業別水揚について
- (6) 「浜田港四季のお魚」について
- (7) リシップ実証事業の中間報告について
- (8) 旭温泉あさひ荘リニューアルオープンについて
- (9) 市道の廃止・認定の状況について
- (10) 平成25年8月豪雨災害復旧事業の進捗状況について
- (11) その他

5 所管事務調査

- (1) 平成25年度第三セクター決算状況について
- (2) 浜田市の農業産出額について
- (3) 主要観光施設の入込客数及び宿泊客数について
- (4) ゴールデンウィーク期間中の主要観光施設の入込客数について
- (5) 平成25年度入札執行状況について
- (6) 危険家屋の状況について
- (7) その他

6 その他

【議事の経過】

[10 時 00 分 開議]

布施委員長

ただいま、出席委員は、7名で定足数に達しております。
直ちに本日の委員会を開催いたします。
それでは、当委員会に付託された議案3件について、順次審査を行います。

1. 議案第53号 市道路線の廃止（木戸山賀線外）について

2. 議案第54号 市道路線の認定（木戸山賀線外）について

布施委員長

議題1及び議題2を一括議題といたします。執行部から補足説明がありますか。

（ 「ありません」という声あり ）

では質疑を行います。この件については既に現地調査も終えておりますが、何か質疑はありますか。

（ 「なし」という声あり ）

ないようなので次に移ります。

3. 議案第55号 土地改良事業計画について

（団体営農業基盤整備促進事業（浜田第二期工区））

布施委員長

議題3についてです。執行部から補足説明がありますか。

（ 「ありません」という声あり ）

では質疑を行います。委員から質疑がありますか。笹田委員。

笹田委員

初歩的なことをお聞きしたいと思います。この事業は2年間にかけてやるとのことですが、具体的にどういったことがどのように変わるのですか。

布施委員長

農林振興課長。

農林振興課長

これは提案説明の時にお話させていただきましたが、これから区画整理をしようとする田んぼの横に、災害で埋まった田んぼがあります。それを一括で区画整理して、担い手がない農業の現状であって、担い手農家が農地集積が可能となるような区画整理をして、併せて担い手農家の規模拡大に繋げていこうというものです。

笹田委員

災害があって、それをひとまとめにする改良工事とのことですが、先ほどありましたように、担い手さんが非常に問題になっております。この改良の後にある程度見込みがあるのかどうか、お伺いします。

農林振興課長

現在、この改良をしても、今のところご自分で作付される予定で、担い手を探している状況ではありません。将来的に高齢化等で作れなくなった場合に、担い手に渡す時に、引き受けていただきやすい農地にするということです。

布施委員長

他にありませんか。

（ 「なし」という声あり ）

はい、以上で産業建設委員会に付託を受けた市長提出議案に対する質疑は、全て終了しました。

4. 執行部報告事項

(1) 第1回瀬戸ヶ島埋立地活用研究会の開催結果について

- 布施委員長 続いて議題4、執行部報告事項を議題とします。(1)について報告をお願いします。地域プロジェクト推進室長。
- 地域プロジェクト推進室長 5月30日に開催した、第1回瀬戸ヶ島埋立地活用研究会の開催結果を報告させていただきます。
- (以下、資料をもとに説明)
- 布施委員長 説明が終わりました。この件について、委員から何か質問等ありますか。笹田委員。
- 笹田委員 瀬戸ヶ島の利用については、私も何度も一般質問等に取り上げてきましたし、すごく大変なことだと思います。平成23年度に水産庁が行った瀬戸ヶ島の利用問題について、センク21というコンサル会社がある程度の方向性を示したという形で、3月の議会でも言わせていただいたのですが、今これを見る限りでは、あまり違いがないような気もしていますが、平成24年度の3月にそれができあがってきて、いま平成26年と2年間経っていますが、メンバーも同じ方もおられますし、その住み分けを教えてくださいたいと思います。
- 地域プロジェクト推進室長 センク21の報告書ですが、これは、水産庁が主体となって全国にこういう埋立地が未利用な所が多いということで、その活用アイデアを色々と募られたということです。当時、この瀬戸ヶ島についてもそういう調査が行われ、この時には水産業の関係者をメインとした方々を中心に色んな意見が出されています。今回この研究会で議論していく中で、当然水産庁の承認もいただきながら、瀬戸ヶ島の活用を考えていかねばならないという事情がありますので、この調査報告書も資料として提供して、それを踏まえた上で更に意見を頂戴しています。例えば漁業関係だけの集約だけでなく、浜田には他に農産物という魅力もあります。あるいは温泉、神楽等、色んな魅力がありますので、そういう色んな立場の皆さまの意見を求めるということで、今回の研究会の中でまとめあげていきたいと思っています。
- 笹田委員 前回の調査結果は今後検討すべきものということで、これを受けて実は規制緩和が進んだというような側面もありますので、現在の規則の中で少し整備について広がりを持つことができるような事業になりましたから、ここで改めてそれも踏まえて色んな意見を頂戴して、それは絵に描くということではなく、具体的に形にしていくために、実際にそこに関わっていただけるような事業所の方なり、色んな事業があるのかどうかということまで少し掘り下げて、方針を固めていくという予定にしているところです。
- 笹田委員 はい、分かりました。25日に第2回があるとのこと、我々も様子うかがっていききたいと思うのですが、先ほど、センク21さんの資料を今回の研究メンバーにも提供しているとのこと。以前は瀬戸ヶ島の問題を話す時には、だいたい産業経済部の方と色々話をさせていただいたのですが、今回総務の方に移ったとのことなのですが、新しい議員もおられますし、委員長、センク21さんの検討会議の報告書の資料請求をしたいと思うのですが。他の委員さんにも瀬戸ヶ島の問題というのが多分、私が言ったセンク21さんの資料というのが見えないと思いますので。もしよろしければ委員会として、前回の瀬戸ヶ島の報告書を皆さんに出して

いただけたらと思うのですが、いかがでしょうか。
 布施委員長 委員の方にお諮りいたします。いま笹田委員から瀬戸ヶ島の埋立地利
 用についての前回の資料が水産庁から出ているとのことですので、資料
 請求がございました。委員の方、資料請求してもよろしいでしょうか。
 (「賛成」という声あり)
 はい。地域プロジェクト推進室長。
 地域プロジェクト推進室長 それでは第1回研究会の時にご提示させていただいた、A3に意見を集
 約した資料がありますので、これを資料として提出させていただきたい
 と思います。
 布施委員長 よろしくお願ひします。その他、委員からありますか。牛尾副委員長。
 牛尾昭副委員長 長い付き合いなので、どこから何を言えば良いか迷ってしまうので
 すけど。結局、国も県も逃げてしまって、もう浜田市だけではどうにもな
 らないよというのが現状ですよ。そういう認識で議論してもよろしい
 でしょうか。
 地域プロジェクト推進室長 現在、漁港関連施設として整備をするというのは、この埋め立てにも
 15年以上かかっていますので、その間なかなか厳しい事情があるとい
 うことですので、漁業関係施設以外に、地域振興施設、あるいは産業振興
 施設という視点で議論を進めていっても構わないものかと思っています。
 牛尾昭副委員長 少しかみ合わないような気がします。前回自由に意見を出してもら
 ったのだということで、そのことが悪いということではないのですが、
 やはり見てみると、例えば飲食物販関係、全国で生き残っているフィッ
 シャーマンズワープなんてほとんどないんです。例えば釣り堀。埋め立
 て前でしたら釣り堀をするには最高の場所でした。例えば遊覧船を運航。
 遊覧船はかつて行ったことありますが、2隻作る予定が2隻では無理だか
 らせめて1隻にしたらということで会社は破綻しました。ですからやはり、
 過去の歴史の中で駄目な例を議論をさせるのは時間の無駄で気の毒だ
 と思って。過去の失敗例を挙げながら、次へ行くのだという提案の中で議
 論しないと、せっかく委員の方に出かけていただいても無駄な時間をそ
 こで費やすということに。傍聴していないので字面でしか言えませんが
 そのような気がします。
 それと市長が言われている、アクアスともう1ヶ所欲しいのだという気
 持ちはすごく分かります。それは分かるのだけど、ここにあるような施
 設をぼやっと立ち上げたとしたら、ゆうひパークとお魚センターをぶっ
 潰すくらいの覚悟でここへ施設整備しないと、2つ目の核はできるわけが
 ないと思うのです。そういう議論をやっておいて、その上で、さあどう
 するのだということでない。例え色々な意見をまとめられたとしても、
 先ほど笹田委員が言った、何年にはこういうまとめがあったよねと、3年
 前にこういうまとめがあったよねと、またこれもやったけど、こういう
 まとめがあるけど次に動かないよねと、そういうことになる恐れがある
 ような気がします。新しい地域政策部でおやりになるので、それはそれ
 で良いと思うのだけど、そういう覚悟はあるのですか。最初にこの件も
 伺っておきたいと思ひます。
 地域プロジェクト推進室長 いま浜田市が置かれている経済事情等を考えても、どうしてもこの時
 期にそういう拠点となる施設整備は必要だと思ひますし、市長もそ
 ういう思いの中で地域プロジェクト推進室を新たに立ち上げたという

ころがありますので、それを任された私どもとしては、ここに何とかそういう拠点を整備するために、全力を尽くしていきたいと思っています。

それから先ほどご質問いただいた、過去の事例の中で色々上手く行かなかったということもあるので、この辺りは研究会にもきちんと情報を出しながら、より実現性のある内容について固めていく、基本方針の中で明らかにしていくという気持ちで臨んでいきたいと思っています。

牛尾昭副委員長

せっかく市長さんがお出かけになって説明されているので、それに僕が噛みついて申し訳ないのでこれ以上言いませんが、先ほど言ったように、本当に市長が言ったような意図を受けてやるのであれば、ゆうひパークやお魚センターはもう要らないという前提の中でここをやらないと、絶対無理ですよ。ゆうひパークとお魚センターを作った時に、上下で住み分けをしますと言って理論武装でやったけれど、今その実態が示しているわけですから。失敗したわけですよ、政策とすれば。ですから、なんとか活性化しなければいけないけど、いくら市長の思いがあったとしても、既存の施設を潰してそこへそういうものを作る価値があるかということも含めて議論しないと大変なことになると思います。これは一般質問でやるべきことでこれ以上言いませんが、是非その辺を真剣に受け止めていただいて。この15年ぐらいの歴史の中でここには本当に辛い思いをしている人が一杯いるのです。でも何とかしたいという思いはあるのだけどできなかったという現状があるので、今のようなことを執行部の中で、ゆうひパークとお魚センターはもうやむを得ないねと、アクアスに次ぐ第2の核を作る覚悟でおやりになるなら私は賛成しますが、そうでないなら中途半端に終わりますから、私は駄目だと思います。

布施委員長
西田委員

西田委員。

牛尾昭副委員長と気持ち的にはかぶっていると思うのですが、アクアスともう1つの拠点ということで、この瀬戸ヶ島の地域をとということなのですが、拠点施設で。色んな委員さんと検討を重ねた上で、ハード的なものはどんな形でもできると思います。形にはなるとは思いますけれど、先ほどからもありますように長い目で見て、議員さんたちのイメージ、ここに住んでいる人たちのイメージで色んなご意見があると思いますが、ここを利用される市外・県外・都市部の方、ここにやってこようとされる方々の、どういう目的でここに来られたか、色んなリサーチはしなければいけない気がしています。簡単に言えば、ハードはやればできると思いますが、最も重要なのはソフト面で、どういうターゲットにどういう所でゆっくり楽しんでいただくか、他所との違いは何なのか、そういったソフト部分を徹底的に探る必要があると思います。その辺の考えを、どういう進め方をされるのか、ご意見をお聞きしたいと思います。

布施委員長
地域プロジェクト推進室長

地域プロジェクト推進室長。

今回の研究会の委員の皆さまには、一番ターゲットとして考えている広島市場をとということになりまして、この色んなタウン情報の編集者ということで、色んな情報をお持ちの方にも入っていただいています。こうしたところからも意見をいただきながら、先ほどご提案いただいた、徹底的なソフト面の調査というか、可能性調査についてもしていきたいと思っています。

西田委員

また先々ではだんだん話が煮詰まってくると、委員さん以外の市民、

布施委員長
牛尾博美委員

あるいはターゲットとなる山陽方面の方々や、あるいは関西・関東の方々の、幅広いご意見を是非聞いて、ソフト部分をしっかりと充実させていただきたいと思います。

その他、ありますか。牛尾博美委員。

これは先ほど牛尾昭委員が言われたように、もう十数年前から、この前は産業建設でなくて経済委員会で委員長として牛尾昭委員が色々汗をかかれたのですが、なかなか上手くいかなくて、結論は出たような感じだけど据え置きみたいな形でずっと推移したと思うのですが。ここに研究会の委員名簿があるのですが、この名簿の中に、先ほども話が出たと思いますが、浜田市民あるいは広島市民、広島の方も高木さん以下、タウン誌の方もいらっしゃいますが、市民が不足している。それから女性、あと年代別に言うと、ここには年齢が全然書いていないのですが、もっと若い方の意見、あるいは女性の意見、そうしたものももっともっと要ると思うのですが、これはもう固定化するのですか、それとももう少し柔軟に対応して、委員を増やしていくというようなことがあるのでしょうか。

地域プロジェクト推進室長

今回の研究会委員については、色んな多方面の分野の団体の方にお話に行き、その団体のトップではなく、女性の方や若い人や色んな方を推薦していただきたいという中で、このメンバーを推薦していただきました。基本的に事務局としても、女性の視点あるいは若い人の視点は重要だと思っていますので。ただこの研究会は委嘱して1年の間お願いするということですから、メンバーとしてこれを変えることはごさいませんが、パブリックコメントなり、そういうグループに出向いて意見を聴取するなり、別の方法も含めて色んなニーズを把握して、それをまた研究会の中に持ち込んで皆さんにお諮りするような、そういう色んな手立ては考えていきたいと思っています。

牛尾博美委員

1年間を期限としてこの研究会を、何回やるとかではなく、1年を期限として何度かこの研究会委員として回を重ねていくということですか。意見を出すということですか。

地域プロジェクト推進室長

来年の1月ぐらいまでに、基本の方針を固めるということで、その間だいたい5回ぐらいの研究会を想定しておりました。委員の皆さんには、5月30日に1回開催していますが、あと4回程度出ていただいて意見をいただきたいと思っています。

牛尾博美委員

もう一つ。先ほど笹田委員が言われたように、過去の経過というものもありますね。そういう資料の提供はこの委員に差し上げていますか。あるいは説明しているのですか。

地域プロジェクト推進室長

直近のところで、水産庁が取組みをされた、センク21さんというコンサルが入られて調査研究をされた結果については、この研究会にご提供しています。

布施委員長

その他、委員からありますか。

(「なし」という声あり)

ないようなので次に移ります。

(2) 女性向け起業セミナーについて

(3) ㈱山陰合同銀行との企業誘致に関する成功報酬の協定締結について

(4) 浜田市商品開発アドバイザーの委嘱について

布施委員長 (2) から (4) についてまでの、3項目の説明を一括してお願いします。
産業政策課長。

産業政策課長 (以下、資料をもとに説明)

布施委員長 3点について説明が終わりました。この件に関して委員から質問等がありますか。串崎委員。

串崎委員 女性向けセミナーですが、募集期限が7月10日と迫っています。定員30名程度とのことですが、人数確保やPR方法等はどうなのでしょう。

産業政策課長 目標としてはここに書いてあるとおり30名としています。現段階で3名ほど予約が入っていますが、市内あるいは市外の助成組織や金融機関、あるいは日本政策金融公庫、あるいはそういった企業のためにある組織等にチラシ等千枚作成して配布しています。また他にも、浜田市ホームページでもこのことについて掲げて参加者を募っているところです。

串崎委員 分かりました。5、6人で終わったということがないようにお願いします。

布施委員長 笹田委員。

笹田委員 非常に驚きました。開催までもうあまり時間がないのにまだ3名とはどうなるのだろうかと、ちょっと残念な気持ちでいます。PRチラシを千枚作って渡したとのことですが、20日前でこの程度の人数しか集まらないということは、なかなか、土日開催で拘束時間も長いということで、参加が難しい女性もおられるかもしれません。ただ、PR方法が、今回の一般質問でもやったのですが、お宝の募集に続いて二の足を踏んでいると。ロードマップに掲げているにも関わらず、市民の皆さまがまだ知らない、分からないという状況が生まれていると感じます。色んな問題もあると思いますが、FacebookだとかLINEだとかTwitterとか、そろそろ浜田市もやっていかなければならない時期に差し掛かってきているのではないかと思います。実際、浜田市民でやっている方も多いですし、私のFacebookで初めて知ったという市民の方も多くおられます。そういった中で情報発信としては、やり方を考えていかないと、せっかくロードマップをこのように打ち上げて。これ非常に期待しています。女性が起業するというのは非常に良いことなので、私としても非常に期待しているのですが、こういった状況になると、まだやっぱりかと、正直ちょっと思ってしまう部分があるのです。PRについて、課長の思いがあればお願いします。

産業政策課長 議員ご指摘のように、Facebook等を使うことは非常に有効な手段だというふうには考えています。ですが今回については、チラシあるいはホームページ、それからPRがちょっと遅れたというところもありますので、その辺については部をあげて色んな方面に出て、PRあるいは参加者募集の活動をしていきたいと思っています。市長がロードマップに掲げる、浜田市を元気にする、雇用の場を創出するという目標に掲げている事業ですので、何とかこれを継続していける事業になるように取り組みたいと思っています。色んな面でまたご指導いただければと思います。

笹田委員 私もこれをFacebookに載せて市民の方に募集を呼びかけようと思うのですが、再度確認するのですが、参加料が2千円ということによろしいでしょうか。

産業政策課長 参加料は2千円です。この2千円というのは、実費負担ということで考えております。2千円出していただいで、5回の研修を本気で取り組んでいただきたい。そういう思いも含めて実費負担ということで、負担金をいただくこととしています。

笹田委員 分かりました。別にお金を取るのが悪いと言っているわけではないので、やはりそれだけの意気込みで来ていただきたいとも思いますし。以前少し聞いたのですが、このセミナーが終わった後の支援も何か考えておられると。これをやるだけではあまり意味がないと思いますので、更なる支援策みたいなものをお考えおられるならお願いします。

産業政策課長 この5回のセミナーが終わりましたら、起業に向けて皆さん取り組んでいただけると思うのですが、そのためにはまず拠点が重要だと思っています。従って、今いわみふらっとでインキュベーションがありますが、その入所というか、光熱水費だとかインターネット接続費だとか、色んな経費が必要なのですが、その辺りについても補助・支援をして、起業しやすい環境を作っていきたいと思っております。

笹田委員 いまの話をお聞くと、具体策はまだそれなりに考えていないと感じたのですが。実は私も1回行ったことがあるのですが、女性だとか若い人というのは、やる気があってもお金がなかったり人脈がなかったりするもので、お金の面は別として、市の方は色んな人脈を知っていると思うので、そういった起業に向けて色んな人と知り合わせてあげたり、案内をしたり、そういった支援というのも、女性だとなかなか声をかけづらい部分もありますので、起業に向けて色んな人に紹介するというのは市としてもできると思うので、そういったことについてできるかできないか、可能性があるのかどうか、お伺いします。

産業政策課長 おっしゃるとおりだと思っています。この事業を立ち上げるにあたりうちだけでは実施できないので、金融機関や商工会議所等と一緒に、連絡会というのを立ち上げています。この連絡会立ち上げは、起業のための相談、ワンストップで対応しようということを目的にしています。どこへ行ってもそういった全面的サポートができるような体制を作って、起業しやすい環境を作っていきたいと考えています。

布施委員長 その他ありますか。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長 ようやくこうして具体化したので。私も12月と3月議会とで、この女性セミナーについては質問しています。ようやく出てきたということで評価しています。素朴なことを部長に訊いてみたいのだけど。当該委員会でこの件について色々やっていたのだが、6月議会の議員の質問に答えて、詳しいメニューが披露されました。多分委員長もそれ以前に聞いていないだろうし、何か最近少しちぐはぐだなと。大事な事業ですから、本会議の一般質問に答えてようやく僕らも中身を、ああそういうことを考えているのかと、執行部答弁でこのメンバーが聞くというのは少し違うなという気がしました。ですから今後はそういうことがないように、最初にお願ひしておきたいと思っております。

それから、先ほどチラシ等を作っておられるという話だったのですがどんなチラシですか。ちょっと委員に見せてもらえませんか。どんなチラシか回覧してもらえませんか。

布施委員長 挙手してもらって。資料ありますか。

産業政策課長
布施委員長
牛尾昭副委員長

手元にはありませんが、用意させます。

では、来た時点であれします。

チラシを今見せてもらいました。現在3名応募があるとのことで。私も個人的にどうしたら良いのかという相談を受けています。このチラシを見る限り、今回の目玉は、新しい市長が1コマ持つのだというのがすごく売りだと思うのです。1面だけ見るとどこにも、僕も最近目が悪いからあれだけど、市長が1コマやりますというのどこにも大きな字で書いてありません。書いてないんですよ、今見てはじめて分かったんですけども。やはり、この事業の目玉は何かということです。新市長が就任して、女性やらシニアの起業に力を入れますよと。フォローアップ、後の支援もしますよと。起業のために手厚い支援をしますよというのが大きな目玉なのです。そういう事業であるにも関わらずこのチラシですよ。担当課の意識が低いのではないかと思います。こんなもので30人呼べるかと言われたらどうするかということを、僕は聞いてみたい。だが今日はそれ以上言いませんが。どうも意欲と行動が絡まっていないという気がするのです。特に女性の起業セミナーを最初に、秋にシニアをするわけですから、立ち上げたわけですから、もう少し気合いを入れて、答弁だけではなくて在りようをちゃんとして欲しいと思います。これ1回目躓いたら、市長の目玉政策が躓くのと一緒にのですよ。その辺の認識が足りないのではないかと思うのだけど、どうですか。

産業政策課長

今回このカリキュラムの中には、市長にも1コマ設けて、女性の起業で浜田を元気にという講演もしていただく内容にしていますし、最終日には先輩創業者たちの体験談等も入れて、参加して良かった、やりたい、そういう思いになるような、後押しできるようなセミナーにしたいという考えを持って臨んだところではありますが、内容としてその辺について少し、表現的にまずい所があったかも分かりませんが、やる気だけは持っておりますので、何とか30名達成するように取り組んでまいります。その辺についてまた、議員皆様方のご指導をいただければと思っていますので、よろしくお願いします。

牛尾昭副委員長

今回の議案質疑でも、後出しという言葉が複数の議員から出ました。やはり最初の打ち出しですから。これ新しく作り変えたらコストがかかるのでそれは言いませんが、一番の目玉は、牛来千鶴さんではないのです。久保田市長が自ら1コマ持ってやるということだろうと思うので、貴女の夢を形にすると。現職市長が自ら1コマ持つというのがどれほどインパクトのあることか分かってもらわないと。いま大学で市長は2週間に1回、2コマ持っています。市長の気持ちを聞いたわけではないけど、県立大学の地元の市長が授業を持っているということはすごくインパクトがあるということで、市長は4月以降も引き受けられているのだろうと推察します。それと同様で、あまりくどくど言わないけど、本当お願いしますよ。この程度のことを言わせないように頑張ってください。

産業政策課長

ご指摘ありがとうございます。今回貴重なご意見をいただきましたので、今後はシニア・若者のセミナー、それから来年再来年度と続いていくので、主旨がぼやけないように、皆さんが参加したいと思わせるようなチラシづくりに努めてまいります。よろしくお願いします。

布施委員長

その他ありますか。笹田委員。

| | |
|--------|---|
| 笹田委員 | 商品開発アドバイザーの委嘱についてですが、以前から石村由起子氏がずっと浜田市に関わってくださっていますが、1年間の委嘱料というのはおいくらなのか、お伺いします。 |
| 産業政策課長 | 基本的にはボランティアです。ただこちらに来られる旅費、交通費や実際に商品開発相談等に関わった、いただいた時間によって謝金を出させていただいています。 |
| 笹田委員 | せっかくこのように、商品開発アドバイザーということで来られて、去年は参加企業が6社しかこられていないのですよね。せっかく浜田まで遠い所から来ていただいて、浜田のためにと思っている、6社は少し少ないのではないかと思うのですが、その辺の認識をお願いします。 |
| 産業政策課長 | 今までの実績というか、1日あるいは2日単位で来ていただいて色々ご指導いただくわけですが、どうしても1日ということで考えると、午前中2社、午後2社というようなスケジュールになってまいりまして、この6社というのも、色んな販路の面で可能性があるものや、業者の方から希望があるものとかを選定してお願いしているものでして、実際にはできるだけ多くの方に関わっていただき、可能性を探っていくような形になればと思っていますが、忙しい方でもありますので、なかなかこちらに来られることがなく、その結果6社という少ない数になっています。 |
| 笹田委員 | いまの話ですと1日4社ぐらいが限界なのだという話でしたが、実際その応募は20社くらいあって、選定して6社に決めているということなのでしょう。たまたま今回は6社しかなかったのが6社という形なのでしょう。 |
| 産業政策課長 | 昨年については、そういった可能性のあるというか、新たな商品開発で相談が持ちかけられているような事業者を対象にお願いしているので、たまたま6社だったということです。 |
| 笹田委員 | なかなか忙しいので今後來られることも少ないと思います。我々も先生の話聞いたことがあります、的確なアドバイスをしてくださいますし、貴重なご意見もいただけますので、多くの会社に、希望があるところはなるべくご意見を賜るようにしていただきたいと思います。 |
| 布施委員長 | その他ありますか。西田委員。 |
| 西田委員 | 山陰合同銀行との企業誘致の件です。実現した場合の成功報酬10万円と新聞でも見たのですが、その10万円という金額はどういう経緯なのか、妥当なのか。その辺を教えてください。 |
| 産業政策課長 | 報酬金額10万円の根拠ですが、根拠は特にございません。ただ、金額の多寡ではなく、合銀と浜田市お互いにとっての真剣度や本気度を確認するための金額ということでご理解いただければと思います。 |
| 西田委員 | 浜田市の方からそういう金額を提示されたのですか。 |
| 産業経済部長 | これについては、協力協定書に基づいて、20年7月から情報提供や色々な協議の場で話をしています。色々なことをお教えいただいたり、ご指導していただいていたわけですが、このたび広島市場開拓室ということで企業誘致を大きな柱の一つとして広島に乗り込むということが決定され、これは山陰合同銀行さんの協力もあって合銀ビルさんに進出することになりました。その話をしていく過程の中で、今後もっと密接に連携しようという話がありました。山陰合同銀行さんからは、料金は無料でも良いのだというお話もうかがっていたわけですが、他にも、県と雲 |

南市さんでしたか、こういった成功報酬型の事例が一つありましたようで、それが10万円とされていました。10万円が高いか安か。今までですとデルタシーアンドエスのように、現在120人を雇用していただく企業がもう4年くらいになって、非常に効果もあるので、私どもとしたら10万円という例もあるよといった時に、それはぜひともという形で、この成功報酬10万円をお支払いするということになると、私どもとしたら大変安いという気持ちではいます。合銀さんも、それは一つの例としてですが、次長が申したように、金額の多寡ではないのだということは言っていたいておりましたので、これですと進んできたという経緯があります。

西田委員
布施委員長
牛尾博美委員

私も大変安いと思います。でもよく分かりました。

その他、ありますか。牛尾博美委員。

これを見てみると、商品アドバイザーの件と山陰合銀、女性のためのセミナー、この件に関して、本来なら起業したい人とか商売やっている人とか、工場経営者とか、様々関係があると思うのですが、商工会議所に全て関係していると思います。この辺の関係というか連絡はどのようになっているのか少し聞いてみたいのです。情報提供等、情報をもらうことも含めて。お願いします。

産業政策課長

先ほども少し申し上げましたが、商工会、商工会議所、金融機関、県の機関含めて、そういった起業や商品開発の連絡会的なものを立ち上げました。こういった商品開発、合銀さんとの協定の締結、そういったことも含めて、全て情報共有しながら取り組んでいこうということを確認しています。ですから今後、色んな販路に関わることや商品開発に関わることについても、色んな面で協力関係を持って取り組めると思っています。

牛尾博美委員
産業政策課長

これからやるということですか。

4月末に連絡会を立ち上げています。まだできて間もないということもありますが、既に2回会議を開いて、情報共有をしながら取り組んでいるところです。今後においても、更にこういった情報もお互いに出し合いながら、進められたら良いと考えています。

牛尾博美委員

本当に大事なことだと私は思います。少し話が変わりますが、3月の予算の段階で産業経済に関係する色んな事業が、本来であれば小売、卸、工場、農業、様々な分野の施策を実際に企画して、予算をつけて、これから1年やるのですが、商工会議所・農協・漁協・商工会、そうしたところに、こういうことをやりますよと。太陽光発電には補助しますよとか、そういうことを本来なら執行部は話をして持っていかねばいけないはずなのです。何故かと言うと一つの例を挙げると、一般質問ではないですが、いま20万円のバリアフリーの関係があるではないですか、いわゆるトイレや風呂の、これを僕はもう5、6件聞いているのですが、その補助制度を使っていない。つまり業者が知らないのです。おかしいでしょう、もう何年もやっているのに。それは知らなかった市民が悪いのではなくて、業者も悪いわけではなくて、そうした施策等を、業者とか電気関係の人だとか大工だとか建設関係に知らしめてないからだと僕は思っています。だから今年の予算でも、こういうことをやりますああいうことをやりますというのを、商工会議所には建設もあれば小売もあれば様々あるではないですか、そういう面でもっともっと、今回のこの3つの件だけ

に関わらず、もっと密接に関係しながらやらないと私はいけないと思います。今回4月からやり始めたということですが、しっかりと連携を取ってやっていかないと。市民やまちの人、商店街の人が置き去りになった形でこういうことをやっていくというのは、問題があるのではないかと。論点から少し外れたかもしれませんが、大事なことなので。この辺は、執行部でこういう企画をしようという時には、自分らだけで考えるのではなく、商工会議所・農協・漁協・商工会、様々な組織があるので、そういう所にもう少し相談したり、チラシをもっと配るとか、個別にあたっていかないと。これだけ配って置いておくだけでは、誰も来ませんよ。作り方の問題もありますが、そういうところをやっていただければと思っています。もし何かお考えがあれば。

産業政策課長

おっしゃるとおりだと思っています。組織を作っても、機能しなければ意味がありません。情報共有、あるいは連携強化に向けて、今後もそういったことを確認しながら、実のある組織となるよう取り組んでまいります。

布施委員長

その他にありますか。

(「なし」という声あり)

ないようなので次に移ります。

(5) 漁業別水揚について

(6) 「浜田港四季のお魚」について

布施委員長

水産振興課長

布施委員長

(5) と (6) についての説明を一括でお願いします。水産振興課長。

(以下、資料をもとに説明)

以上2件の説明が終わりました。この件に関して委員の方から何か質問等がありますか。笹田委員。

笹田委員

浜田港四季のお魚ということで、これも3月議会でやると聞いて期待していたのですが、ちょっと、なかなか四季が感じられないというか、3シーズンにまたがっているのが7種類もあったり。その時期に美味しいということなので仕方ないかもしれませんが、四季を感じられないものになっていると個人的に思います。また、夏と言われればそうかもしれませんが、6月は島根県全般でサザエは禁漁なので、地元には一切上がらないことになっています。これも6月に含めると勘違いされる恐れがあると個人的に思います。ワカメについても、春、3・4・5月なのですが、一番美味しい時期というのは2月で、4月頃にはほとんど成長しすぎて駄目になっています。実際は2月に獲れたものが良いワカメではないかと思っています。春になればすぐワカメは駄目になるので、この辺は少し勘違いされる方がおられるのではないかと思うのですが、その辺の認識はありますでしょうか。

水産振興課長

この選定会議なのですが、当初私どもで考えておりましたのは、各季節ごとに3、4種類決めていこうということで会議に諮りました。選定会議の委員さんは漁業関係者、飲食店関係等々、様々な意見が出たところです。結果的にこういった、26種類という多くの種類になったわけで、なかなかシーズンを絞るのが非常に難しいという面もあります。実はこの選定会議には、久保田市長にも出ていただきました。そういった様々

な業界の方のご意見を参考にさせていただき、これで良しと決定した経緯があります。四季の括りのところがなかなか、3ヶ月で括っていますので、先ほどおっしゃられた禁漁期等のことはあります。それについては、とりあえず今回26種類でPRさせていただく中で、そういった課題等が出てきたら、また選定会議等を開いて変えていくことも考えていければと考えています。

布施委員長
牛尾昭副委員長

他の委員からありますか。牛尾昭副委員長。

イサキが落ちているのだが良いのかな。梅雨イサキと地元では言うし最近で言えば大中型にイサキが入ってて大量に上がっているということもあるのだけど、ふと見たらないのだけど。そういう話は出なかったのですかね。

水産振興課長

選定会議の時にはイサキは出ませんでした。確かにこの梅雨時期のイサキは非常に脂が乗って美味しいということで、私も分かってはいます。先ほど笹田委員さんのご質問の時に言いましたが、当初3、4種類と決めたら、それでは駄目だろうというお話があって、非常に種類が増えた経緯があって。実は市長も別の魚種を挙げられたのですが、選定会議ではちょっとそれはどうかということで、載らなかったものもあります。確かにイサキは美味しいので載せれば良かったのかもしれませんが。流通量といったところがあったのかもしれませんが。当面はこれで走らせていただければと思います。

牛尾昭副委員長
布施委員長
牛尾博美委員
水産振興課長

また次回、入れた方が良くと思います。

その他ありますか。牛尾博美委員。

これを印刷物にするわけですか。

はい。いまこれが決まりましたので。これは今回の委員会用の資料です。今後これをパンフレットにしたりだとか、色んなグッズを作る予定にしていますので、早急に作って産業経済部、広島開拓室等もありますので、そちらの方で配備していただいたり、色んなPRをしていきたいと考えています。

牛尾博美委員

素人の僕がこんなことを言うのもおかしいのですが、もっと季節感のあるというか、写真の技術をもっと考えて、斜め前からだけでなく、もっと撮り方があります、頭の方から撮るとか。それから百均で売っているようなトレイばかり使うのではなくて、もっと季節に、あるいは浜田全体に通じた、竹を掘って、その上に弥栄の竹であるとか何とか、そういうストーリーを持たせたようなものとか。それは書く必要無いのだけど。もっとそういう形で季節感、そして見た目、そういうものをもうちょっと。例えばクマザサを下に引くとか。もうちょっと少し考えて。お金をかけろというのではなく工夫して、撮影も考えないと、これを見て皆判断するので。その辺は非常に重要なんですよ、タイトル等も含めて。しっかり考えて良いものを作ってもらいたいと思います。

水産振興課長

貴重なご意見ありがとうございます。今回の資料については、市の職員で、このための資料として出させていただきました。今後作成する時には、また選定委員さんの意見も聞きながら、PR資材を作成していきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

布施委員長

その他にありますか。

(「なし」という声あり)

それでは、1時間以上経過していますので、11時20分まで休憩します。

[11時 07分 休憩]

[11時 17分 再開]

(7) リシップ実証事業の中間報告について

| | |
|---------|---|
| 布施委員長 | (7) についてです。漁港活性化室長。 |
| 漁港活性化室長 | (以下、資料をもとに説明) |
| 布施委員長 | 説明が終わりました。委員から質問はありますか。笹田委員。 |
| 笹田委員 | 中間報告ということで金額等が出てきたのですが、概ね良い効果が出ていると感じ取られます。3番目の海水冷却装置導入による鮮度向上の取組みで、単価が18%も良くなっているとのことですが、これ他の船の単価はどういう状況か分かりますか。 |
| 漁港活性化室長 | 他の船では、これほどの効果が表れていないということは聞いています。具体的な数値は把握しておりません。 |
| 布施委員長 | その他、委員からありますか。牛尾昭副委員長。 |
| 牛尾昭副委員長 | 下関に浜吉の視察に行く時期はおおよそどのぐらいを想定されていますか。その辺だけ委員の全員にお知らせしておいていただければと思います。 |
| 漁港活性化室長 | 浜吉水産の浜吉丸については、下関の小門造船においてリシップ工事をされております。6月上旬から既に工事を始められており、視察の予定時期としては7月中旬がよろしいかと考えています。 |
| 布施委員長 | その他にありますか。 (「なし」という声あり) ないようなので次に移ります。 |

(8) 旭温泉あさひ荘リニューアルオープンについて

| | |
|---------|---|
| 布施委員長 | (8) について説明をお願いします。旭支所産業課長。 |
| 旭支所産業課長 | (以下、資料をもとに説明) |
| 布施委員長 | 以上説明終わりました。この件に関して委員から何か質問はありますか。 (「なし」という声あり) ないようなので次に移ります。 |

(9) 市道の廃止・認定の状況について

| | |
|--------|---|
| 布施委員長 | (9) についてです。維持管理課長。 |
| 維持管理課長 | (以下、資料をもとに説明) |
| 布施委員長 | 以上説明終わりました。この件に関して委員から何か質問はありますか。 (「なし」という声あり) ないようなので次に移ります。 |

(10) 平成25年8月豪雨災害復旧事業の進捗状況について

布施委員長
災害復興室長
布施委員長

(10) についてです。災害復興室長。
(以下、資料をもとに説明)
以上説明終わりました。この件に関して委員から何か質問はありますか。
(「なし」という声あり)
ないようなので次に移ります。

(11) その他

布施委員長
観光交流課長

(11) についてです。ありますでしょうか。観光交流課長。
私どもの方からは、旧相生水源地解体工事についてということで。この工事自体は上下水道部の方で行われるものですが、ここの跡利用というか、これを当面の間、観光バス等の駐車場として利用させていただくということで、話を進めているところです。ここにありますように、倒壊が危惧される施設等ございます。そういったものを解体するという事として、解体、あるいは整地された後、当面観光バス等の駐車場として利用するという事で計画しております。これはかねてより、旅館組合さんといった所からも要望も出ており、駅前の特にホテルさん、そういった所から、いわゆる大型観光バスが来てもなかなか停める所がないというようなこともあったので、その要望を受け、こちらで整備させていただきたいと思っております。今後ですが、この工事が9月下旬くらいまでには何とか完成するという事ですので、その間に関係の宿泊施設さん方とも調整しながら、どういうふうに使っていくか、利便性等も含めて協議して、使っていきたいと思っております。

布施委員長

以上説明終わりました。この件に関して委員から何か質問はありますか。笹田委員。

笹田委員

相生の濾過地があるところだと思いますが、これは国道沿いの所だけ整備して、溜め池があった所はそのままにしておくという認識でよろしいのでしょうか。

観光交流課長

そのとおりです。裏に図面がございしますが、こちらで1から6というのが、一応バスを駐車するスペースということで考えています。その下に、四角い枠で綴っていますが、ここへフェンスを設置して、そこから国道側ということで活用させていただきたいと思っております。

笹田委員

ここも浜田市の土地だと思うのですが、解体しない部分はそのまま塩漬けにしておくという認識でよろしいのですか、今後何か考えていることがあるのでしょうか。

都市建設部長

この部分については、将来、浜田市内下水道工事をした際の、処理場ということで予定しておりますので、そのためにここは取っておきます。

布施委員長
牛尾昭副委員長
布施委員長

はい、少し私から。

布施委員長。

説明を受けました。組合から要望があつてこの地区を整備して観光バスを停めるということは、狭い浜田市の地域においては塩漬けになった所を有効活用するのは必要だと思っておりますが、ここはご存知のように、非常に朝夕に混雑するところです。そして浜田川沿いから柏村印刷側から出た場合、この社家地神社に行く方に一旦停止があり、非常に、いつも警察が一旦停止で見ている所です。そういった交通需要も考えながら。

これ入口と書いてありますが、非常に危惧するところがあります。ただ単に中で整備して観光バスを停めれば良いという問題ではなくて。前も私は一般質問させていただいたように、夜間の高齢者の危険な区域で、非常に暗い所でもあるのです。道路照明灯、防犯灯、色んな照明がありますが、そういったものを加味してこの選定をしたのかどうかということ、まずお伺いしたいということと、もう一つは先ほど笹田委員が言われましたように、将来的な使用について、やはりもう少し具体的に、煮詰まりましたら地元の合意形成をしてください。そういうことも必要だと思っておりますが、それについての答弁をお願いします。

観光交流課長

これも、今の検討段階ということで申し上げますと、この計画図の左手、真っすぐ行けば神社になるのですが、そちらから入るとなると、大型バスの旋回が非常に困難であるということもあるので、今のところこの出入口は国道からを考えています。まだ、常時ここに駐車するというものではありません。そのバスの入ってくる時間帯等が関係しますので、そういったことを、実際に来て止まっていたくホテル等との話をさせていただき、使い方を詰めていきたいと思っております。

また、防犯灯等の灯りの件ですが、これについては、そういったことは全く思っておりませんでしたので、これも協議の議題として併せて検討してみたいと思っております。

布施委員長

地元の合意については…。

観光交流課長

これは、具体的というか、実際には、この工事を着手するにおいて、これは上下水道部から地元自治会さん等に説明に伺うと聞いています。

布施委員長

地元の人には今から、先ほどのような説明をされると思ってよろしいですか。

観光交流課長

そのとおりです。

布施委員長

その他、委員からありますか。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長

2月の市長との意見交換会でこういう話が出て、このように進んで、いま色んな話を聞きました。お世話になっております。これは、9月下旬が完工予定なのだけど、9月はシーズンに入ってしまう。この程度の工事ならもっと早く上げるというのは難しいのですか。僕は専門家でないから分からないけど。こんなにかかるものなのですかね。早く仕上がる可能性というのはないのでしょうか。

観光交流課長

直接いま私どもで工事というのはちょっと分かりませんが、できるだけ早くということはお聞きしています。

布施委員長

その他、委員からありますか。

(「なし」という声あり)

その他、執行部から何かありますか。

ないようなので次に移ります。

5. 所管事務調査

(1) 平成25年度第三セクター決算状況について

布施委員長

定例会初日に委員会でお願ひしていた資料等が用意されていますので、執行部から順次説明をお願ひしたいと思ひます。まず(1)について、産業政策課長。

産業政策課長

(以下、資料をもとに説明)

弥栄産業課長
布施委員長

(以下、資料をもとに説明)

弥栄産業課長、いま説明されましたが、せっかく資料がありますので、何ページのこの部分だということ言ってもらわないと言葉だけ言われましても追っていきようがないのです。先ほど言われた数字の部分についてももう1回お願いします。弥栄産業課長。

弥栄産業課長
布施委員長

(以下、資料をもとに説明)

詳細な説明が終わりました。委員から質問はありますか。

(「なし」という声あり)

ないようなので次に移ります。

(2) 浜田市の農業産出額について

布施委員長
農林振興課長
布施委員長

(2) についてです。農林振興課長。

(以下、資料をもとに説明)

説明が終わりました。この件に関して委員から質問はありますか。飛野委員。

飛野委員

今の時期、農業産出額ということになるとどうしても浜田の顔となる特産品の選定部分の話が出てまいります。その中において、一つの叩き台の資料だと思って受け止めています。そういう意味でよろしいでしょうか。

農林振興課長

この資料については、1億円産品をこれから模索するというだけの資料ではなく、今までずっと20年度に基準を合わせて、各年度の産出額を参照してきています。今回の1億円産品に限ってこの資料を作ったわけではございません。

飛野委員

でもこのタイミングですとどうしてもそういう部分も参考になることがあろうと思います。その中において少し私が申したいのが、1億を目指すと言ってもなかなか、将来目指すわけですから、今から生産者並びに組合等が一生懸命な部分があれば、可能性としてはある。私が言いたかったのは、例えば1千万に満たない部分であっても、今急速に生産者がやる気になって組合も増えてきているという部分において、こういう資料も参考にしつつ、そういう浜田の特産品を育てていくという気持ちがあるかないか。お聞きしてもよろしいですか。

農林振興課長

前回の調査会でもお話させていただきましたが、あくまでも現在ある作物。ただこれは25年度の産出額については、あくまでも参考として押さえていただきたいと思います。今後ここに品目の無いものも、これから考えていきたいと思います。例えば「健康」というキーワードで押さえて新たな産物も検討していきたいと思いますし、一般質問の中で部長がお話しましたように、16、17日に島大の先生が来て、意見交換をさせていただきました。島大としても荒瀬学部長以下2人の副学部長さん、それから3人の先生方も来て、浜田現地も視察して、実証圃の候補という所も見ていただきました。そういう研究データをいただいて、これから1億円産品の選定にあたっていきたいというふうに考えています。

布施委員長
串崎委員

その他委員から。串崎委員。

私いまも言いましたが、1億円にするための基本的資料というのは分かりますけど、西条柿4600万、どちらかと言えば大きい方で、ちょっと1億円は無理かなという感じがいたします。前年対比もまあまあのところで

| | |
|---------------|--|
| 農林振興課長 | <p>すが、前も言いましたように選果場が2つあるのを1つにするという話を聞きました。そのことによる影響等をどうお考えでしょうか。</p> <p>距離的に確かに遠くなる部分はあるかと思いますが、それなりの設備をもって対応していただければマイナスにはならないと思います。ただ、浜田の方と三隅の方の生産組合の方の同意をこれから上手に取っていかねばならないと考えています。</p> |
| 布施委員長 西田委員 | <p>その他、委員からありますか。西田委員。</p> <p>この表の下から2段目、JA販売以外の米生産額についてですが、平成20年からずっと同じ金額なのですが、これはどういうことでしょうか。</p> |
| 農林振興課長 | <p>私もこの表を見て今日の説明のシナリオを考えていた時に気付きました。元担当に伺いました。平成20年からこの産品の一覧表を作り始めたわけですが、その資料が大変申し訳ありません、探してもない。実際にはこれは個販、JAを通さずに個別に販売しておられる量だとか、あと家庭で食べられる量を、当時積算されたのだと思います。これも実際に、何%落とせば良いのか、上げれば良いのか、ある程度数字を動かさなければいけないところであるというふうには、今回見て思いました。次年度以降はその辺りの数字の調整をやっていきたいと思っています。</p> |
| 西田委員 布施委員長 | <p>分かりました。</p> <p>その他、委員からありますか。 (「なし」という声あり) ないようなので次に移ります。</p> |

(3) 主要観光施設の入込客数及び宿泊客数について

(4) ゴールデンウィーク期間中の主要観光施設の入込客数について

| | |
|--------|--|
| 布施委員長 | <p>(3) についてと、(4) についてを、一括説明してください。観光交流課長。</p> |
| 観光交流課長 | <p>(以下、資料をもとに説明)</p> |
| 布施委員長 | <p>説明が終わりました。委員から質問はありますか。 (「なし」という声あり) ないようなので次に移ります。</p> |

(5) 平成25年度入札執行状況について

| | |
|--------|--|
| 布施委員長 | <p>(5) についてです。建設企画課長。</p> |
| 建設企画課長 | <p>(以下、資料をもとに説明)</p> |
| 布施委員長 | <p>説明が終わりました。委員から質問はありますか。 (「なし」という声あり) ないようなので次に移ります。</p> |

(6) 危険家屋の状況について

| | |
|--------|---|
| 布施委員長 | <p>(6) についてです。建築住宅課長。</p> |
| 建築住宅課長 | <p>(以下、資料をもとに説明)</p> |
| 布施委員長 | <p>説明が終わりました。委員から質問はありますか。笹田委員。</p> |
| 笹田委員 | <p>私がお願いしたので2点訊いてみます。やはり今の空き家の課題について、相当空き家があっても厳しいのだろうなと思いましたが。ただ、通学路の中にも実はそういった危険家屋がありまして。登下校時に子ども</p> |

が前を通ることもあります。去年の水害の時、危険家屋の周りに通学路や道路が無かったので、良かったという言い方はしませんが、倒壊したけど被害が無かったと聞いていますし、先日も震度1の地震があったとのことで。万が一ということが考えられまして。いつも登校時に並んでくれているシルバーセンターの子ども見守り隊の方々も、ああいった箇所をすごく気にされています。なかなか市の土地や建物ではない中で難しいと思うのですが、そういった所は何かしら対処して、危険回避という形で出来ないものだろうかという相談を受けています。そういった家屋が長浜にもありますし、野球場の交差点の所もバリケードがしてあって、歩行者が通ると危ない所もありますし、多々あると思います。そういった、人が通りそうな所の危険家屋というのは、この内の何軒程度把握されているのでしょうか。

建築住宅課長

この資料で言うと、先ほど委員さんが言われたように、道路沿い、通学路も含んでいます。13軒のうち、特に危険…危険にも色々定義がありますが、瓦も落ちそうだというものも含めると、私のイメージでは12軒ぐらいあると思っています。

笹田委員

12軒とのことで、今その対処というのは課題の中で難しいという認識でよろしいのでしょうか。

建築住宅課長

所有者さんは分かっているのですが、所有者さんの事情、本人さんもよく承知されています。何度かお願いにはいくのですが、資金的な面とか、見積もりは頼んでいるのだがとかいうようなことで、それで待っている状況がほとんどです。

布施委員長

その他、委員からありますか。
(「なし」という声あり)
ないようなので次に移ります。

(7) その他

布施委員長

(7) についてです。その他、何かありますか。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長

本会議で市長は私の質問について突然言われた「4市合同の観光列車」。萩・長門・益田・浜田の提案をしたのだということですが。新聞にも一部出ていた記憶がありますが、もう少し詳しい報告がもし出来れば、一応聞いておきたいと思うのですがいかがですか。

観光交流課長

観光列車については市長の提案を受けて、現在4市の間でこれについて検討しようと、協議を開始しています。イメージ的にはこういう列車と市長からお聞きしていますが、元になる車両をどうするかとか、そういうところもありますし、もちろん4市の行政だけではどうしようもありません。JR米子や広島を担当の方々も交えて、今から具体的な話をしていく状況です。

産業経済部長

補足させていただきます。私はちょうどその会議に同席しており、お話もうかがったのですが、ご存知のように山陰本線から、益田からは山口線に引き込みになっています。昔は急行さんべや特急いそかぜということで、直通で益田から萩方面のJRがあった時期があります。それが今途絶えて、益田市でどうしても、島根県側から萩へ行こうと思うと、全ての方が益田駅で乗り換えないといけない状況があります。下関から長門までは金子みすず号ということでやっています。それとJR山陰線

の海岸が大変美しいということで、以前、海づくり大会に天皇陛下が来られた時、山口方面に行かれた時に展望列車にずっとおられて、ずっと景色を見られていたというお話等もうかがい、是非ここは浜田から三隅・益田・持石海岸を經由して須佐・長門という所は、景色として非常に美しいのではないかとということで市長さん同士の話も盛り上がり、ではぜひ、直通でまっすぐ走れる長門から浜田間でも何とか観光列車を走らせることはできないか、そうしたら萩・石見空港のお客さんにも楽しんでもらえるし、こちらの観光の目玉にもなるのではないかとということで、先ほど観光交流課長が申しましたように、JR米子鉄道部と広島県の鉄道部の方も交えて、意見交換を始めさせていただいたところです。

牛尾昭副委員長

車両がどういう形になるのかということは別にしても、豪華列車の質問をさせてもらったのですが。その市長の提案がレールの上を走れる可能性は、あるという見通しぐらいは今踏んでおられるのでしょうか。

産業経済部長

これについては、議員ご提案の「豪華寝台列車」というのはもうJR西日本が打ち上げられて、確実に松江にも松江支店長を置かれて、全力でやっておられるということも存じています。ただ、今4市長会で言ったのは「こういったことをしてはどうか」ということで、うちの方から要望を出したところで、鉄道部さんとのお話の感触では、それは是非良いことだと。自分たちもそういったトロッコ列車とか金子みすず号とか、広島にもマリンビューというところが4つか5つ、JR西日本管内でそういった特殊車両で走らせているケースがあるそうですが、そういったところができるのであれば、非常に自分たちも良いと思うということで、これに対しては本当に協力的に意見を聞いていただいて、また、アドバイスも受けているところです。実現の可能性ということになると、私がここで何%と申し上げられないのが非常に残念ですが、その実現に向けてお話をさせていただいているところです。

布施委員長

はい。所管事務調査でその他何かありますか。

(「なし」という声あり)

ないようなので所管事務調査を終了します。

6. その他

布施委員長

議題6についてです。執行部からその他として何かありますか。

(「なし」という声あり)

委員からその他として何かありますか。

(「なし」という声あり)

事務局からその他としてありますか。

(「なし」という声あり)

ないようですので、その他を終了します。執行部におかれてはここで退席されて結構です。大変ご苦労さまでした。

なお、委員の皆さんは当該委員会に付託された、市長提出の議案3件について、各議案ごとに採決を行っていきますので、今しばらくお付き合いください。

(執行部退席)

それではこれより、市長提出の付託議案について順次採決を行います。
委員から採決前に何か意見がありますか。

(「なし」という声あり)

議案第53号 市道路線の廃止（木戸山賀線外）について

お諮りします。議案第53号について原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「なし」という声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第54号 市道路線の認定（木戸山賀線外）について

お諮りします。議案第54号について原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「なし」という声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第55号 土地改良事業計画について（団体営農業基盤整備促進事業（浜田第二期工区））

お諮りします。議案第55号について原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「なし」という声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で産業建設委員会に付託を受けた議案の審査は全て終了しました。
これで産業建設委員会を終了いたします。皆さまご苦労さまでした。

[12 時 23 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに産業建設委員会記録を作成する。

産業建設委員長 布施賢司